

- 問1 江戸幕府の三代将軍である徳川家光は、大名が1年おきに江戸と自らの領地を往復することを義務づける制度を、武家諸法度を改正することで確立しました。この制度の名称を次の中から選んでください。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 天明のききん 2. 公事方御定書 3. 安政の大獄 4. 参勤交代
- 問2 江戸時代、幕府は財政難を解決するため、慶長小判に比べて金の含有率を約3分の2にまで下げた元禄小判を大量に発行する政策を行いました。この政策が当時の経済に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 幕府が貨幣の発行量を厳しく制限したため、貨幣の価値が高まり、物価が下落した。 2. 貨幣の質を下げたことで人々の信頼が増し、貨幣の価値が上がったため、物価が下落した。 3. 市場に流通する貨幣の量が増え、貨幣1枚あたりの価値が下がったため、物価が上昇した。 4. 貨幣に含まれる金の量が増えたことで、海外との貿易が盛んになり、物価が安定した。
- 問3 葛飾北斎が描いた浮世絵の連作のうち、大きくうねる波間から遠くに富士山を望む「神奈川冲浪裏」という作品が含まれている、風景画のシリーズ名称はどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 富嶽三十六景 2. 東海道五十三次 3. 婦人相学十体 4. 見返り美人図
- 問4 江戸時代後半、杉田玄白らが西洋の解剖書を翻訳した『解体新書』を出版するなど新しい学問が発展する中で、日本古来の精神や文化を研究しようとする学問も大成されました。この学問の名称と、本居宣長が30年以上をかけて完成させた、古代の歴史書を研究した著作の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 儒学と『学問のすゝめ』 2. 国学と『奥の細道』 3. 国学と『古事記伝』 4. 蘭学と『解体新書』
- 問5 ある藩の記録によると、1771年にロシア船が来航した際には薪や食料を与えて対応していましたが、1829年にイギリス船が現れた際には、鐘や太鼓を鳴らして警備を固め、予告なしの砲撃で威嚇して追い払うという対応の変化が見られました。このように、18世紀後半と19世紀前半で幕府や諸藩の対応が大きく変わった背景にある法令は何ですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 武家諸法度 2. 異国船打払令 3. 禁中並公家諸法度 4. 薪水給与令
- 問6 江戸幕府が他の儒教の学派よりも朱子学を特に保護し、武士の教育の柱とした理由として、朱子学が持っていたどのような性質が幕府の統治にとって都合が良かったからですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 全ての人間は平等であり、実力主義を肯定する考え方 2. 迷信を否定し、実験や観察に基づく合理的な考え方 3. 上下関係や身分の秩序を厳格に守るべきだとする考え方 4. 海外との交易を推奨し、富国強兵を目指すべきだとする考え方
- 問7 江戸時代、天下の台所と呼ばれた大阪から、将軍のお膝元である江戸へ大量の物資を運ぶために整備された、太平洋沿岸を通る主要な航路を何と呼びますか。紀伊半島を大きく迂回して江戸へと至るこのルートは、江戸の経済を支える重要な物流網となりました。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 東廻り航路 2. 西廻り航路 3. 南海路 4. 北前船の航路
- 問8 江戸幕府が武家諸法度を制定し、大名による城の修理を届け出制にしたり、新しく城を築くことを固く禁じたりした目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 建築に費やす費用を抑えさせ、各藩の財政難を救済するため 2. 大名の軍事的な拠点を制限することで、幕府への反乱を未然に防ぐため 3. 城下町の商業を活性化させ、幕府の年貢収入を増やすため 4. 城の構造を全国一律にし、幕府の威信を視覚的に示すため
- 問9 天保の飢饉が深刻化する中で発生した大塩平八郎の乱について、その当時の大坂の状況を説明した文として正しいものはどれか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 「天下の台所」と呼ばれ、米の集積地であったにもかかわらず、米が江戸へ送られるなどして地元の民衆が飢えに苦しんでいた。 2. 島原や天草の領主による過酷な年貢の取り立てに反発し、キリシタンを中心とした人々が城に立てこもった。 3. 長崎の出島を通じた貿易が制限されたことで、大坂の商人が輸入商品の不足を理由に幕府へ反旗を翻した。 4. 東北地方の農民たちが、凶作による年貢の減免を求めて集団で大坂へ押し寄せ、将軍への直訴を試みた。
- 問10 1789年にフランスで採択された人権宣言の第1条では、人間が生まれながらにして持つ普遍的な権利について述べられています。この宣言の冒頭で、「人は、[]かつ、権利において[]なものである」と記された、現代の民主主義の基礎となる2つの用語の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 博愛・独立 2. 自由・独立 3. 平等・博愛 4. 自由・平等
- 問11 江戸時代には、限られた資源を有効に活用する仕組みが社会全体に定着していました。例えば、使用済みの紙を回収して一度溶かし、新しい紙として再生させる「漉き返し（すきがえし）」という仕組みがありました。これは、現代の循環型社会を目指す取り組みである「3R」のうち、どの概念に最も深く関連していますか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
1. リデュース（発生抑制） 2. リユース（再使用） 3. リサイクル（再生利用） 4. リノベーション（大規模改修）
- 問12 現在の栃木県日光市に位置し、江戸幕府の初代将軍である徳川家康を神として祀るために造営された、極彩色で精巧な彫刻が施された建築物の名称を答えなさい。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 金閣寺（鹿苑寺） 2. 銀閣寺（慈照寺） 3. 平等院鳳凰堂 4. 日光東照宮
- 問13 江戸時代後半、江戸を中心に栄えた化政文化においては、庶民の暮らしや娯楽を反映した作品が多く生まれました。この時期に十返舎一九によって執筆され、弥次郎兵衛と喜多八の二人が東海道を旅する様子を滑稽に描いた文学作品として正しいものを次の中から選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 東海道中膝栗毛 2. おくのほそ道 3. 日本永代蔵 4. 曾根崎心中
- 問14 江戸幕府による朝廷や公家への統制の仕組みについて説明した文として、正しいものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 大阪城代を設置して西国大名との結びつきを断たせ、朝廷の裁判業務を代行させた。 2. 老中を京都に常駐させて天皇の政治参加を促し、幕府と朝廷による合議制を確立した。 3. 京都所司代を設置して天皇や公家の行動を監視させるとともに、京都の治安維持も担わせた。 4. 六波羅探題を設置して承久の乱の後の朝廷を厳しく管理し、公家の所領をすべて没収した。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 参勤交代	徳川家光は、武家諸法度（寛永令）を改正することで参勤交代を制度化しました。これは大名の妻子を人質として江戸に住まわせ、大名自身は1年おきに江戸と領地を往復させる仕組みです。選択肢にある公事方御定書は八代将軍徳川吉宗による裁判基準、安政の大獄は幕末の弾圧、天明のききんは江戸時代中期の災害を指します。
問2	答え 3 市場に流通する貨幣の量が増え、貨幣1枚あたりの価値が下がったため、物価が上昇した。	江戸幕府が貨幣に含まれる金の含有率を下げる「貨幣改鑄」を行い、発行量を大幅に増やしたことで、市場には質の低い貨幣が大量に出回りました。これにより、貨幣そのものの価値が相対的に低下し、同じ商品を買うのにより多くの貨幣が必要になったため、激しい物価の上昇（インフレーション）が引き起こされました。
問3	答え 1 富嶽三十六景	「富嶽三十六景」は、葛飾北斎が各地から見える富士山の景観を描いた46枚（当初は36枚の予定だった）からなる浮世絵のシリーズです。中でも、巨大な波頭と遠景の富士山を対比させた「神奈川冲浪裏」や、朝日に染まる富士を描いた「凱風快晴（赤富士）」は、大胆な構図とペロ藍（ブルシアンブルー）と呼ばれる鮮やかな青色の使用が特徴で、後にゴッホら西洋の画家にも大きな影響を与えました。
問4	答え 3 国学と『古事記伝』	江戸時代中期から後期にかけて、日本の古典を研究して日本独自の精神を明らかにしようとする国学が盛んになりました。本居宣長はこの国学を大成させた人物であり、特に『古事記』を詳しく研究した『古事記伝』を著しました。選択肢にある『解体新書』は同時期に発展した蘭学の成果であり、『奥の細道』は松尾芭蕉による俳諧紀行文、『学問のすゝめ』は明治時代の福澤諭吉による著作です。
問5	答え 2 異国船打払令	18世紀後半（1771年など）の時点では、幕府は外国船に対して個別に柔軟な対応をとることもありましたが、イギリス船によるフェートン号事件などをきっかけに警戒感が強まり、1825年に「異国船打払令」を制定しました。この法令によって、地方の諸藩も外国船に対して「問答無用で砲撃する」という厳しい対応を義務付けられるようになりました。記述にある徳島藩の対応の変化は、まさにこの法令の影響を直接受けたものといえます。
問6	答え 3 上下関係や身分の秩序を厳格に守るべきだとする考え方	朱子学は「君臣の別（主君と家臣の区別）」を説き、自分の身分に応じた役割を果たすことを道徳の基本としました。この思想は、将軍を頂点とした厳格な身分制度を維持したい幕府にとって、支配の正当性を裏付ける非常に強力な理論的根拠となりました。
問7	答え 3 南海路	大阪と江戸を結ぶこの航路は、太平洋沿岸を通ることから南海路と呼ばれました。大阪に集まった米や酒、醤油、綿花などの生活物資を人口の多い江戸へ安定して供給するために発達しました。これに対し、東北地方の日本海側から下関を経由して大阪へ向かうルートは西廻り航路と呼ばれます。
問8	答え 2 大名の軍事的な拠点を制限することで、幕府への反乱を未然に防ぐため	戦国時代の名残を消し去り、徳川氏による安定した統治を継続させるため、幕府は大名の軍勢力抑制に努めました。許可のない築城や修理は幕府に対する敵対行為とみなされ、改易（領地没収）などの厳しい処分の対象となりました。これにより、各藩の戦力を制限し、幕府の絶対的な優位性を保つ狙いがありました。
問9	答え 1 「天下の台所」と呼ばれ、米の集積地であったにもかかわらず、米が江戸へ送られるなどして地元の民衆が飢えに苦しんでいた。	大坂は全国の年貢米が集まる経済の中心地でしたが、飢饉の際、大坂奉行所は江戸の食糧不足を解消するために米を江戸へ送り、大坂の民衆の困窮を無視しました。大塩平八郎は私財を投げ打って救済にあたりましたが、限界を感じて「救民」を掲げた武装蜂起に至りました。選択肢にある「島原・天草」の記述は江戸時代初期の島原・天草一揆に関するものです。
問10	答え 4 自由・平等	フランス人権宣言は、啓蒙思想の影響を受けて市民階級が絶対王政を倒したフランス革命の中で発表されました。第1条では、すべての人間が生まれながらに持つ権利として「自由」と「平等」を掲げ、従来の身分制度を否定して近代社会の基本原則を確立しました。選択肢にある「博愛」は当時のスローガン（自由・平等・博愛）の一部ですが、宣言の第1条の空欄を埋める言葉としては「自由」と「平等」が適切です。
問11	答え 3 リサイクル（再生利用）	江戸時代の「澁き返し」は、廃棄物を一度原材料の状態に戻してから新しい製品を作る工程であるため、現代の「リサイクル（再生利用）」の先駆けと言えます。これに対し、ゴミそのものを減らすことは「リデュース」、形を変えずにそのまま何度も使うことは「リユース」と呼ばれます。こうした資源を循環させる仕組みは、持続可能な社会を築くための重要な考え方です。
問12	答え 4 日光東照宮	徳川家康は死後、朝廷から「東照大権現」の神号を贈られ、江戸の真北に位置する日光に祀られました。家康を神格化することで、幕府の権威を宗教的な側面からも高める意図がありました。選択肢にある他の建築物は、平安時代や室町時代に建立されたものです。
問13	答え 1 東海道中膝栗毛	19世紀初めの江戸を中心に栄えた化政文化では、庶民の好みを反映した滑稽本や、人情本といった通俗的な文学が流行しました。十返舎一九の『東海道中膝栗毛』は、庶民による伊勢参りなどの旅行ブームを背景に、旅先での失敗談を面白おかしく描いた作品です。選択肢の『おくのほそ道』は元禄文化期の松尾芭蕉による紀行文、『日本永代蔵』は同じく井原西鶴による浮世草子です。
問14	答え 3 京都所司代を設置して天皇や公家の行動を監視させるとともに、京都の治安維持も担わせた。	江戸幕府は徳川家康の時代から朝廷の政治介入を制限する方針をとり、京都に京都所司代を置いて天皇や公家の動向を厳しく監視しました。また、京都所司代は京都の行政や治安維持、さらには西国大名が朝廷と接触しないよう目を光らせる役割も果たしていました。大阪城代は大阪城の守備、六波羅探題は鎌倉時代の役職であり、老中は江戸で幕政を統括する最高責任者です。